

がん検診のお知らせ

○会場 雑賀公民館

【胃がん、大腸がん検診】

10 月 23 日（水）13:30～14:30

【乳がん、子宮がん検診】

10 月 30 日（水）13:30～15:30

※乳がん検診は予約が必要です

予約先：島根県環境保健公社（TEL61-8077）



松江祭藝行列

【宵宮（前夜祭）】

日時 10 月 19 日（土）18:30～21:00

会場 橋南地区：JR 松江駅北口西側広場

参加町内 北寺町・南寺町・灘町・横濱町・
堅町・雑賀津田街道

【藝行列】

日時 10 月 20 日（日）

14:10 頃 松江大橋南詰 14:35 頃 天満宮前

橋南地区参加町内 灘町・横濱町・堅町
・雑賀津田街道・幸町・（藝友会）



雑賀地区防災訓練

11 月 10 日（日）9:00～12:00

雑賀小体育館・雑賀公民館

※詳細は後日お知らせいたします。

ご寄付のお礼

下記の方々よりご寄付をいただきました。
ご厚意に対し厚くお礼申し上げます。

（香典返し）

天野 和子 様（新町）

故人のご冥福をお祈りいたします。

雑賀地区社会福祉協議会

公民館事務室閉鎖のお知らせ

10 月 28 日（月）

ご迷惑をおかけしますが宜しくお願いします。

お
願
い

公民館事業での写真を広報誌やホームページ
等に掲載させていただく場合がございます。
あらかじめご了承ください。

日	曜日	10 月の予定行事・事業	9 月 24 日現在
1	火	にこにこクラブ 10:00～ 沢野の間	
3	木	子育てすもう大会 16:30～ 売豆紀神社	
4	金	ハツラツさいか「写真教室②」 13:30～ 岸ホール	
6	日	秋季クリーンまつえ 7:30～ 松尾会館まつり 10:30～	
7	月	子ども広場 15:00～ 体育館	
8	火	寺子屋 15:20～16:20 沢野の間	
9	水	ウォーキング 9:00 公民館集合	
10	木	公民館喫茶“憩い館” 13:30～ 沢野の間	
11	金	ハツラツさいか「絵手紙体験教室」 10:00～ 岸ホール さいかまつり反省会 18:30～ 若槻ホール	
17	木	学び塾 13:30 雑賀公民館出発 特設人権相談所 13:30～ 平塚ホール	
18	金	ハツラツさいか「写真教室③」 13:30～ 岸ホール	
23	水	胃がん、大腸がん検診 13:30～14:30 雑賀公民館	
26	土	雑賀地区文化祭 10:00～16:00	
27	日	雑賀地区文化祭 10:00～16:00	
29	火	寺子屋 15:20～16:20 沢野の間	
30	水	乳がん、子宮がん検診 13:30～ 雑賀公民館	

問合せ先：雑賀公民館 TEL23-8179 FAX21-8120

雑賀公民館だより

No.271



ハツラツさいか 日帰り研修旅行

～備前焼ミュージアムと麒麟ビール工場見学～

秋の研修旅行は、岡山県備前市伊部地区周辺を産地とする備前焼について学びます。備前焼は絵付けもせず釉薬も使用せずそのまま高温で焼いた、丈夫で土味が良く表れている焼きものと言えます。解説つきで備前焼ミュージアムを見学します。麒麟ビール工場では、製造過程、こだわりの製法やおいしさの秘密について学びます。試飲ご希望の方はお車でのお越しはご遠慮ください。

日 時 令和元年 11 月 7 日（木） 8:00（出発）～17:30（到着）

行 先 備前焼ミュージアム（備前市伊部）麒麟ビール岡山工場（岡山市東区）

定 員 40 名

※定員を超えた場合は抽選となります。結果は後日お知らせします。

参加費 3,000 円（昼食代、入場料等）

申込み 10 月 3 日（木）～10 月 18 日（金）の期間中に公民館窓口にて申込み用紙に必要事項をご記入ください。またはファックスで氏名、住所、年齢、連絡先をご記入いただき送信してください。

なお、電話での受付はいたしません。

FAX 21-8120

第 42 回 雑賀地区文化祭



詳しくはチラシをご覧ください！

10 月 26 日（土）
・27 日（日）

10:00～16:00

雑賀公民館/雑賀小ピロティ

さいかまつり ご協力ありがとうございました！

8 月 24 日（土）、42 回目となる「さいかまつり」を開催しました。今年も大勢の方にご来場いただき盛会となりました。出演者・出店団体の皆様、またご協力いただきました多くの皆様方に厚くお礼申し上げます。

～さいかまつり実行委員会～



ハツラツさいか 絵手紙体験教室

日 時 10月11日(金) 10:00~11:30

場 所 雑賀公民館 岸ホール

講 師 日本絵手紙協会公認講師

雑賀公民館 絵手紙サークル講師 馬庭陽子さん

参加費 300円

定 員 15名(先着順)

申込み 10月3日(木)より受け付けます。雑賀公民館 ☎21-8179



初心者向けの絵手紙体験教室を企画しました。やってみてみたいと思っていた方、この機会にぜひ体験してみませんか。筆などの道具やモチーフはこちらでご用意いたします。お気軽にお越し下さい。

10月の『学び塾』

日 時 10月17日(木)

13:30~15:30 雑賀公民館出発

※雨天の場合は若槻ホールで案内板についてお話しします

テーマ 「ぐるっと雑賀まち歩き～雑賀のまちの案内板めぐり～」

案内人 公民館長 赤木直行

雑賀地区には、まちの歴史や寺社等についての解説を載せた案内板が7基設置されています。

A 床几山 B 教育の町の原点～雑賀の西～ C 鉄砲足軽屋敷の町割(雑賀町) D 堅町～縁結び通り～

E 神々の町人々の町 F 雑賀～見たい・知りたい・歩きたい～ G 雑賀町地図(文久頃)

みなさんは、7基がどこにあるかご存じですか？また、どんな説明が書かれているか知っていますか？

今回は、7基の案内板を巡ってぶらぶら歩きます。案内板にかかっている情報を詳しく読み取りながら、雑賀の町について理解を深めていきましょう。

【今後の学び塾の予定】11月21日の学び塾は、他の事業との関係で中止します。

錦織明さんの「二十四節気七十二候」シリーズは、③「冬」12月5日(木)、

④「春」3月5日(木)に行います。



健康まつえ 21

『いき☆いきウォーキング』

10月は、先人お墓巡りコースです。ご参加お待ちしております。

10月9日(水)※小雨決行

雑賀公民館 9:00集合



- コース：雑賀地区、白湯地区のお寺巡り
- 参加費：無料(各自、電車が代が必要)
- 持ち物：飲み物・帽子・タオル・雨具
- 服 装：歩きやすい服装、履きなれた靴
- 申込み：不要
- 問合せ：雑賀公民館Tel 23-8179

公民館喫茶「憩い館」

☆ 日 時 10月10日(木)

13:30~15:30

☆ 場 所 雑賀公民館 澤野の間

☆ 内 容 歌やクイズほか

☆ 手作りお菓子とコーヒーのセットで 100円



10月の“おひさま文庫”はお休みします。

秋季クリーンまつえ

10月6日(日)

7時30分~8時30分

詳しくは回覧文書をご覧ください。

にこにこクラブ

11月は子育てクッキングです。下記のメニューを“キッチンさいか”さんと作ります。託児もありますので安心して調理実習をお楽しみください。また、今回は食事のみの参加も受け付けます。出来上がった料理をみんなていただきます。

〇と き 令和元年11月5日(火)10時~13時

〇と ころ 雑賀公民館 調理室・澤野の間

〇メニュー 温野菜のサラダ、かぼちゃスープ、豆腐ハンバーグ、おにぎり、デザート

〇参加費 300円(親子1組)

〇申込み 10月30日(水)までに公民館までお申し込みください(TEL23-8179)

随時入会受付をしていますので初めての方もぜひご参加ください



特設人権相談所

日 時 10月17日(木)

13時30分~16時

場 所 雑賀公民館 平塚ホール

主 催 松江地方法務局・松江人権擁護委員協議会

※詳しくは回覧文書をご覧ください。



若槻禮次郎ウォーク

11月9日(土)

詳細は後日お知らせします



ハツラツさいか 写真教室

第2回 10月4日(金)写真選定作業

雑賀公民館 岸ホール 13:30~

第3回 10月18日(金)額装作業

雑賀公民館 岸ホール 13:30~

第49回町民体育祭結果

【応援合戦】

1位 5ブロック

2位 6ブロック

3位 1ブロック

【総 合】

1位 6ブロック

2位 4ブロック

3位 5ブロック



新・話の

くずかご

(222)

台風十五号は、千葉県を中心に関東圏に暴風雨をもたらした。県や東京都にも甚大な被害をもたらした。

強い風により、電柱や鉄塔、樹木が倒れ、家屋の屋根や壁も飛ばされたり、壊れてしまったりしている。さらに、そこに雨が降り、二次災害が広がっている。想定外の事態に、復旧は遅々として進んでいない。

これまでの常識は通じない
「台風十五号に思うこと」

のどこもが台風の通り道である。今は、日本と考えるべきか

近年は台風による洪水や土砂崩れなどの被害も多発しているが、今回は、雨よりも風の威力がこれまでの想定をはるかに越えた強い台風であったと言える。台風被害の多発とともに、気になるのは台風の進路である。社会科の学習で「沖縄は台風の通り道」と学んできたように、少し前までは台風は沖縄周辺を通り、そこから九州・四国・本州への移動するルートをとることがほとんどで

耐震基準が大きく見直されてきたように、これまでの常識を捨てて、電柱や家屋などの風に対する基準をきちんと見直し、災害に強い町づくりをしていく必要がある。被災地では、厳しい日々が続いている。何よりも、被害に遭われた方々の生活復興が一日も早く進むことを願っている。(直)